

## 岐阜県立可児工業高等学校

学 校 長 片岡 基靖

学校住所 可児市中恵土 2358-1 電話 0574-62-1185

1 会 議 名 岐阜県立可児工業高等学校運営協議会 (第1回)

2 開催日時 令和2年6月22日(月) (意見の最終回答日9月11日(金))

3 開催場所 書面開催

4 参加者 委 員 大杉 守平 可児市中恵土自治連合会長  
續木 保証 可児市下恵土自治連合会会長  
問屋 裕子 現PTA役員  
花村 誠司 可児市立図書館長  
渡辺 恒代 元PTA役員  
今井 真実 元PTA役員  
各務 真弓 可児市多文化共生センター事務局長

学 校 側 片岡 基靖 校長  
加藤 信男 教頭

5 会議の概要(協議事項)

送付資料等

・【可児工業高等学校の実績等(概要)関連資料】

- ① 生徒概要
- ② 年間行事予定
- ③ 就職進学状況
- ④ 昨年度の連携事業実績
- ⑤ 昨年度の部活動実績
- ⑥ 昨年度の新聞記事一覧

・【可児工業高等学校の今後の展開等関連資料】

- ⑦ 令和2年度 可児工業高等学校版マニフェスト
- ⑧ 主要3分掌の方針と重点(戦略マップ前資料)(教務部・生徒指導部・進路指導部)
- ⑨ 地域産業の担い手育成事業報告書(1年目)
- ⑩ オンライン学習支援の計画等(別添資料①,②を含む)

- ⑪ 学校紹介ビデオ
- ⑫ 今年度の連携事業

- ・【任命書及び勤務条件通知書】
- ・【学校運営協議会の設置等に関する規則】
- ・【今後の会議日程案】
- ・【委員様のご意見について】

<委員からいただいた意見>

- 意見1： 「知・徳・体・技」の教育目標のもと、明確な目標、取り組み、方策と計画が立てられ進められていると思います。コロナ禍の中ではあるが、出来る限り計画通りに進められることを願います。
- 意見2： コロナ禍の中、オンライン学習支援も行われており、大変素晴らしいと思います。コロナ禍の時期に高校生活を送らなければならなかったことを子供たちが残念に思わない様な学校生活になることを願います。
- 意見3： 人としての育成にも力を入れてくださっているのでありがたいです。新型コロナウイルスの為、人との距離をとらなければならないご時世です。オンライン授業など、ネット環境が広がりましたが、コミュニケーション能力が低下してしまうのではないだろうか、親として不安に思うことがあります。進学・就職ともに、この先どのようなことになるのかと、保護者の皆さんは不安であると思います。学校からも、こまめに情報を発信していただけるとありがたいです。
- 意見4： 新型コロナウイルスの為、登校日数がかなり減ったところに、大雨警報での臨時休業で更に授業数が減ってしまい、先生方も大変だと思います。実習や学校行事など学校でしかできない事も多くあります。また、部活動も大会が中止になり残念でなりません。授業も大切ですが、行事も可能な限りできるとよいと思います。
- 意見5： コロナ対策として早めにオンライン学習を開始され、少しでも学習が進み、生徒も保護者も安心できたと思います。今後も予定通りに進まないことがあると思いますが、特に3年生にとっては大切な時期なので、先生方に頑張ってほしいと思います。学校行事も限られると思いますが、子供たちが充実した学校生活が送られるように願っています。
- 意見6： 新型コロナウイルスにより3月から休業、6月に再開されましたが、コロナ禍の問題は解決されていません。校長をはじめ、教職員の方々は、対策や対応に日々苦慮されていることと思います。ご苦勞様です。感謝を申し上げます。生徒が待っているのに、学校は止まることができません。学校は教育の場として、こうした中で何を教えるのかを考え、こうした中でこそ教えられることがあると思いますので、前に進んでいただきたいです。
- 意見7： 工業高校として様々な教育の取り組みがなされています。可茂地区に於いて唯一の工業高校であり、この地域には多くの会社、工業団地が点在しています。可児

工業高校への期待は大きいので、さらなる指導をお願いします。部活動においては、体育系の活動のみならず、工業高校の強みである研究系の活動も素晴らしいので、今後も活躍を期待しています。

意見 8 : 地域活動や企業、大学等との連携もあり、充実していると感じます。地域課題として可児市、美濃加茂市には外国人児童生徒が多く、日本生まれの子供たちも貴校に進学しております。国際理解、多文化共生の考え方にもさらに力を入れていただきたいと思います。

意見 9 : 進学される生徒も多いですが、貴校は社会人として送り出す教育内容が充実しており、今後も特色を生かしていただきたいです。

## 6 会議のまとめ

今回の学校運営協議会は書面での開催となったが、委員の皆様からは貴重なご意見だけでなく、激励や応援のお言葉もいただいた。本校としては、委員のご意見やお言葉に感謝するとともに、襟を正しコロナ禍の中、生徒や地域社会のために一層の努力を惜しまない強い気持ちをもった。コロナ禍に起因する職員の業務負担が増える中、今回の会議は、疲弊している職員には何よりの勇気づけとなった。委員の皆様の気持ちに応えるためにもさらなる研鑽を職員一同が積むとともに、ご意見でいただいた「情報発信」や「学校行事等のできる限りの執行」については、最大限の善処を行い、次回会議で報告できるよう学校運営を進めていく。

今年度の本校の学校運営方針については、全委員より承認をいただいた。